

国語 十二—一	第一学年及び第二学年の内容 てん(一)	名前	年	組	番
------------	------------------------	----	---	---	---

取り組んだ日 月 日

ぶんしょう

つぎの文章は、てん(一)をうっていません。

ただ ばしよ

正しい場所にてん(一)をうちましよう。

そうげん

けんじ よぞら ほし

草原にねころんだ賢治は夜空の星をな

がめました。

ざ ざはくちようざ

こと座わし座白鳥座。

たの せいざ けんじ こころ ひろ

楽しい星座のせかいが賢治の心に広

がりました。

とく  
りぐ  
んだ  
ひ  
月  
日

国語 十二一二	第一学年及び第二学年の内容 てん(一)	名前 なまえ	年 ねん	組 ぐみ	番 ばん
------------	------------------------	-----------	---------	---------	---------

ぶんしょう

つぎの文章は、てん(一)をうっていません。

ただ  
ばしよ

正しい場所にてん(一)をうちましよう。

むら  
ひと

村の人たちはわらじを直なおしてくれた

きんじろう

金次郎にたいへんかん心しんしかんしやし

ました。

国語 十二—三	第一学年及び第二学年の内容 てん(一)	名前 なまえ	年 ねん	組 ぐみ	番 ばん
------------	------------------------	-----------	---------	---------	---------

取り組んだ日  
月 日

ぶんしょう

つぎの文章は、てん(一)をうっていません。

ただ ばしよ

正しい場所にてん(一)をうちましよう。

ひ ゆうがた

そしてそのつぎの日の夕方のことです。

な くさ

アンリは鳴き声のする草むらにいきなり

だ

とびこみました。するときゆうにとび出し

たものがあります。アンリはぱつとつかみま

した。

とく  
り  
組  
んだ  
日  
月  
日

国語 十二―四	第一学年及び第二学年の内容 てん(一)	名まえ	年	組	番
------------	------------------------	-----	---	---	---

ぶんしょう

つぎの文章は、てん(一)をうっていません。

ただ  
ばしよ

正しい場所にてん(一)をうちましよう。

むら  
かえ  
ひ

きようはその村に帰る日です。汽車から

か  
むら  
なが

おりたあと家ぞくがすむ村までは長い

なが  
みち  
ある

長い道を歩かなければなりません。

国語 十二―五	第一学年及び第二学年の内容 てん(一)	名前 なまえ	年 ねん	組 ぐみ	番 ばん
------------	------------------------	-----------	---------	---------	---------

とく  
り  
ぐ  
んだ  
ひ  
月  
日

つぎの文章は、ぶんしやうてん(一)をうっていません。

ただ正しい場所にてん(一)をうちましよう。

こんなことがあつてからフローレンスは

(みんなのためにできることは何なんだろう。)

かんがと考えるようになりました。

そしてその人ひとのことを思おもって話はなしあい手て

になつたり家いえのそうじをしたりしました。